

青郷小だより

令和4年 9月号
高浜町立青郷小学校



95人 一人一人を



残暑の中にも、朝夕の風に秋の訪れを感じるようになり、校舎の周りでは、親ツバメと同じぐらいの大きさに成長したヒナ鳥に混じって、秋のトンボが飛び交う姿を見かけるようになりました。

この夏は、久しぶりに甲子園大会をテレビでじっくりと観ました。結果は、ご存じのとおり仙台育英高校が初優勝し、深紅の優勝旗の「白河の関越え」が大きな話題となりました。また、須江航監督のインタビューも話題になりましたが、そのことより、須江監督の経歴にとっても興味を惹かれました。

須江監督は埼玉県出身ですが、甲子園出場を目指して憧れていた仙台育英高校に進学しました。しかし、高校時代はずっと補欠で、公式戦はおろか練習試合にも出た経験がなく、監督やコーチからのノックを受けたことすらない3年間だったそうです。

須江監督の経歴を見ていて、大学時代に同じクラスで、部活動は違いましたが今でも仲がよい、埼玉県の友人のことを思い出しました。

〈 同じクラスの友人 「細谷」 男子バスケットボール部 〉

入学してから 男子バスケットボール部にはマネージャーが不在のため
部員の中から 誰かがマネージャーを務めなければならなかった
先輩のマネージャーが引退 そこで部員の中から マネージャーを1人
選出することになった
しかし だれ一人立候補する者はなく 重苦しい雰囲気のまま 数週間が
その雰囲気をやぶったのが 細谷 「俺がマネージャーになる！」

マネージャーの仕事は 用具の整備 練習試合の手配 合宿や遠征の準備
大会の出場申込 連盟との連絡調整 選手の健康管理など 多岐にわたり
選手として練習をする余裕は もちろんない

そして 細谷が4年生になった 最後の大会で チームは見事リーグ優勝
その後 上部リーグとの入替戦が バスケットボールの聖地とも言われる
代々木第二体育館で行われることになり 同級生と一緒に応援に

試合は リーグ戦優勝の勢いそのまま 圧倒的に相手チームをリードし
残り時間はあとわずか 勝利を確信していたところで メンバーチェンジ
コートに立ったのは 何と細谷！ 応援席がざわついた
細谷が マネージャー兼選手として 登録してあったことは 後で知った

(裏面に続きます)

その後 コートメンバーは シュートチャンスで必ず 細谷にラストパス
しかし 練習をしていない細谷のシュートは なかなか入らない
気がいたら 応援席では 補欠の後輩バスケット部員や同級生をはじめ
応援に来ていた全員が総立ち 「細谷！ 細谷！」 の大声援
そして ついに細谷の シュートが決まる
その瞬間 ベンチ入りメンバー全員が 細谷に抱きついた
応援席では みんなの涙が 止まらなかった
チームは見事勝利し 一番最初に 胴上げされたのは 細谷だった

スポーツをはじめ、いろいろな活動場面で、活躍する選手や目立つ行動などに目が行くことが多く、その他の子ども達のことを見逃しがちです。
どのような場面でも、一人一人をしっかりと見ていきたいと思えます。

2学期が始まりました。夏休みの思い出を胸に、新たな目標を持って、子ども達が元気に登校してくれました。子ども達の願いや思い、そしてそれぞれが抱える悩みに寄り添いながら、一人一人の成長を支え、ともに喜び合える、そんな青郷小学校でありたいと思っています。



当たり前に 感謝

「広い廊下、きれいな校舎ですね」「ずいぶん明るくきれいになりましたね」
初めて青郷小学校に来られたお客さんや、久しぶりに学校を訪れた先生方などから、このような声をよくかけられます。

昨年度の長寿命化工事で、校舎内外の至る所を改修していただき、昨年度には、子ども達も教職員も「すごい、きれいになった！」と喜んでいました。

しかし、気がつくともそれ当たり前になり、周りの方から指摘されて、久しぶりに思い出すぐらいになってしまいました。

また、「高浜町では給食費、教材費は無償化で家庭の負担はなく、全て町費で負担してもらっています」という話をすると、他市町の先生は「そんなことができるんですか！」と、いつも驚かれます。

どんなことでも、時間が経つにつれて、つい当たり前と捉えてしまいがちです。
この夏には、大雨で被災された地区がたくさんありました。

身の回りの環境だけではなく、子ども達と一緒に学び合える一日一日に感謝しながら、学校生活を充実させていきたいと思えます。

※ 子ども達の学校生活の様子をブログでも紹介しています。
ぜひ、ご覧ください。

< <http://seikyo.takahama-town.com/> >



<QRコード>